

# 令和2年度 第3回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年1月14日(木)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

## 議題

### 1. ACPの理念について 進行：部会長

#### 前回3Gから出た意見をひとつに統合する

##### 1) 共通する言葉をまとめてみましょう。

「私らしく」「今を生きる」「協働」「価値観」「人生観」「繰り返し」など

- ・「矜持」という言葉は専門職として大切に、残したい

キーワード的な意味としても入れて欲しい

- ・慈恵医大の倫理ドクターの公演をオンラインできいた。

ACPの主体は本来患者だが、病院では主体は医療者になってしまっている。

それが意識できるような理念にしたい。

患者さんが自分で決めたくないと言うならそれがその人の意思になる

##### 2) 箇条書きで3つくらい上げたらどうかと思うがどうか? →反論なし

- ・今まではどう亡くなるかを考えるものと思っていたが、この作業部会に参加することでどう生き抜くかを考えられるようになった。後ろ向きなものではなく、前向きな表現にしたらどうかと思う

- ・本人とかその人だと私という言葉で始めたい

専門職にむけてだとすると、専門職としてどう寄り添うのか2つの視点のものがあつた方が良くと思う

- ・迷った時に振り替えることができるものである必要がある。専門職が何のために誰のために行っているのか立ち返ることができるような納得できるような理念にしたい

- ・これまで、病気を患ったことがない人が対象になると、アドバンスライフプランニングになりまた変わってくる。

## 結論

キーワードなど皆さんから意見がでた。これらを事務局と部会長・副会長で話し合い3つくらいの文章でまとめ、次回、提示することになる。

### 2. 地域ケア推進会議よりACPに関する報告

- ・資料2について説明
- ・資料3について説明

この部会では網掛け部分を取組んでいきます

### 3. 今後のACP作業部会の計画について

この部会では大きく分け、マニュアル作りと情報共有ツール作成の2本立てになる  
2つにグループを分けて作業をすすめるのはどうか。

- ・はじめから作成すると大変なので、既存のものを参考にしたらどうか
- ・情報共有については、サルビー見守りネット（以後ICTとする）の加入もすすんでいないため、紙面がよいのではないか
- ・紙面だと常に持ち歩いて欲しい。救急搬送された時に家に置いてきたでは役に立たない。また、ICT内の項目にその欄がない。今あるものでどう決めていくかになる
- ・対象は主治医やケアマネがいる人を想定して考える。紙ベースの方がよいとしても、ICTのメリットもある。地域によってはICTを災害時に活用しているところもあるため、とりかかりは書面だとしてもゴールはICTとしてはどうか。
- ・デイネット部会でも看取りの話題になり、ICTだと情報交換が早くできるため、活用したいという意見がでた。

#### 結論

マニュアル作りと情報共有と並行してすすめていく。

情報共有は既存のICTをベースに考えていき、マニュアル作りは第1回で配布された柏市のものをベースで進めていく。

### 4. その他

現状、ACPに関連することで困っていることなど自由討論となる

Q) がん末期で緩和ケアに入り亡くなる方などがこれまでの自分の経験が少ないこともあり、言葉かけが難しいと感じている。皆さんどうしてますか

A)

- ・訪問に行った時の相手の訴えに臨機応変に対応している。痛いと言われたら、それに対応するなど、対症療法的に対応している
- ・マギーズ東京の看護師は、病名はきかないでその人の生活ができるように支援していると言っていた。がん末期だからとかこだわらなくていいと思う
- ・何かを言わなければいけないと気負わなくてもいいと思う

### 5. 事務連絡

1) あんじょう広報について（資料4）について

市民向けのACP啓発記事を広報に掲載する。内容について、意見があれば18日までにメールで意見ください。

- ・人生会議という言葉自体が何か仰々しい気がする。この言葉を前面に出して良いかどうか。一般市民に受け入れられるか。
- ・これまで、医療やケアを受けていない人には難しいかもしれない。そういう人にもわかるようなものが良いのではないか？

2) 令和3年度の日程について

- ・第2木曜日を定例する方向で予定している。業務調整等ご協力をお願いします。

次回 第4回ACP作業部会 令和3年2月15日(月) 14時 安城市医師会館